

公益社団法人神奈川県病院薬剤師会 2025年度事業概要報告

(2025年4月1日～2026年3月31日)

2026年6月4日

関係各位

〒235-0007 横浜市磯子区西町 14-11
神奈川県総合薬事保健センター
会長 山田 裕之

次の通り、当法人の2025年度において実施した事業について報告します。

1. 事業活動の基本方針

2025年度においては、一般市民に良質な医療と健康的な生活を確保するために、薬事・公衆衛生に関すること、医療薬学等の学術の進歩発展に関すること、薬剤師の資質向上に関することなどを行う事業としての公益事業（公Ⅰ：1～5）、及び、薬剤部門業務支援に関する事業（その他1）と名簿発行に関する事業（その他2）としての収益事業等を実施した。

2. 事業内容

I. 公益目的事業（公Ⅰ）

一般市民に良質な医療と健康的な生活を提供するために、薬事・公衆衛生に関すること、医療薬学等の学術の進歩発展に関すること、薬剤師の資質向上に関することなどを行う事業

公Ⅰ－1 薬事・公衆衛生に関する正しい知識の普及・啓発を行う事業

<定款上の根拠 第2章、第4条3)、6)、8)>

市民講座や相談会、体験学習会の開催及び協力、薬事関連資料の作成・配布等（ホームページを含む閲覧資料）により、一般市民に対して正しい薬事・公衆衛生に関する知識の普及を目的としている。同時に薬剤師職能に対する広報を行い、一般市民が気軽に相談できる環境を整える事を目的としている。

1. 市民公開講座・体験学習会およびくすり相談に関すること

【目的】一般市民を対象とした医薬品に関わる講演会を開催（関連団体と共催）する。また、「くすり相談」を実施し、一般市民への医薬品に関わる正しい知識の普及・啓発活動を行い、一般市民の健康管理、薬事知識の向上に寄与すると共に、展示物・配布物等を通して薬剤師の職能について一般市民への理解を深める。

1-1. 「くすり市民講座」の開催

第1回 学術集会等における「県民講座」の開催

開催日 2026年3月7日

開催場所 神奈川県民センターホール

内容 「心臓を元気にまもろう～心臓にまつわる病気を管理する～」

一般社団法人神奈川県警友会けいゆう病院 循環器内科 部長 菅野 康夫 先生

参加者数 155名（一般市民134名、その他21名）

実施形式 座学

担当委員会 学術情報委員会（GTA委員会と共催、後援：横浜市医療局）

第2回

開催日 2026年1月25日
開催場所 戸塚区総合庁舎 多目的スペース
内容 「抗がん剤の副作用と支持療法」
相模台病院 八城 学 先生
「肺がんのお薬の話」
湘南鎌倉総合病院 呼吸器内科 主任部長 福井 朋也 先生
参加者数 20名（一般市民8名、その他12名）
実施形式 座学
担当委員会 GTA委員会

1-2. 一般市民を対象とした病院体験学習の開催

開催日 2025年7月26日
開催場所 医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院
内容 高校生病院薬剤師体験セミナー
参加者数 3校 9名
担当委員会 GTA委員会

1-3. 「くすりと健康すこやかフェア：横浜」の開催

開催日 2025年10月16日
開催場所 横浜駅東口新都市プラザ（そごう正面入口前広場）
内容 パネル・パンフレット設置
参加者数 一般市民 約1,000名
担当委員会 GTA委員会

1-4. 市町村及び関連団体依頼の「講演会」への協力・「くすり相談」等の実施

第1回

開催日 2025年10月16日
開催場所 横浜駅東口新都市プラザ（そごう正面入口前広場）
内容 お薬相談
参加者数 一般市民 54名
担当委員会 GTA委員会（くすりと健康すこやかフェア：横浜）

第2回 学術集会等における「市民相談」の開催

開催日 2026年3月7日
開催場所 神奈川県民センターホール
内容 お薬相談等
参加者数 一般市民（お薬相談24名、脳年齢10名、血管年齢60名、骨年齢40名、心血管指標30名）（重複参加あり）
担当委員会 学術情報委員会（GTA委員会と共催、後援：横浜市医療局）

1-5. 病院薬剤師の職能に対する広報（展示パネルの整備・貸出）

開催日 2025年10月16日
開催場所 横浜駅東口新都市プラザ（そごう正面入口前広場）
内容 病院薬剤師の業務内容、薬の適正な使用方法等の業務パネル貸出
担当委員会 GTA委員会

事業の財源：参加費および相談料は無料とし、費用には会費、補助金、寄附金を充てた。

2. 県民向け情報提供に関すること

【目的】「患者・一般市民からの医薬品に関わる質問に積極的に答えよう」という活動のもと、医薬品に関わる正しい知識の普及・啓発を目的として、小冊子「あなたのくすりと健康」（視覚障がい者のための音声コード印刷版）を発行するなどの情報提供を行う。

2-1. 小冊子「あなたのくすりと健康」（音声コード印刷版）の発行

発行時期 2025年6月、9月、12月、2026年3月
配布場所 一般市民、会員施設、市町村公共施設、視覚障がい者の団体に配布
対象・部数 一般市民、部数 10,000部
担当委員会 GTA委員会

2-2. 神奈川県病院薬剤師会ホームページによる医薬品情報の普及・啓発

実施場所 当会ホームページ上
対象 一般市民
担当委員会 GTA委員会

事業の財源：費用には会費、補助金、寄附金を充てた。

3. 公衆衛生に関する普及・啓発

【目的】各医療機関で実施される看護週間の催し、献血事業・禁煙支援などの公衆衛生事業に積極的に協力するよう、広く医療従事者に呼びかけを行い、一般市民の健康管理、薬事知識の向上に寄与する。また、麻薬・覚せい剤・大麻の不正使用をなくすために、一般市民への呼びかけを行う。

3-1. 看護週間への協力

開催日 2025年5月11日
開催場所 神奈川県総合医療会館
参加者 お薬相談 19名
担当委員会 GTA委員会

3-2. 禁煙支援に関すること

開催時期 通年
実施場所 当会ホームページ上
内容 日本病院薬剤師会「禁煙推進宣言」および神奈川県が推進している卒煙（禁煙）サポート事業に基づき、禁煙支援に関する情報を提供
参加者 一般市民
担当委員会 GTA委員会

3-3. 献血事業への協力

紙面協力 小冊子「あなたのくすりと健康」117～120号
献血案内掲載（日本赤十字社画像提供）
発行部数 10,000部
担当委員会 GTA委員会

3-4. 不正麻薬・覚せい剤・大麻撲滅運動の推進

開催時期	通年
内容	神奈川県薬物乱用防止対策における不正大麻・けし撲滅運動に基づき、大麻・けし等に関する情報を提供
実施場所	小冊子への情報掲載、当会ホームページ上 ※小冊子「あなたのくすりと健康」113号表紙 厚生労働省 監視指導・麻薬対策課画像提供の不正大麻・けし画像を使用し、「不正大麻・けし撲滅運動」の記事を掲載
参加者	一般市民
担当委員会	GTA委員会

事業の財源：費用には会費、補助金、寄附金を充てた。

公 I - 2 高度で安心安全な医療を患者が受けられるようにする為の事業

<定款上の根拠 第2章、第4条1)、2)、5)>

神奈川県内の医療現場では、地域性や医療機能が異なると、一般市民が安心安全な薬物療法、良質な薬物療法、高度な薬物療法を受けられない現状がある。患者が神奈川県内どこの病院・地域でも同じレベルの薬物療法を受けられるようにするためには、薬物療法の質の向上やそれに係る地域および施設間格差の是正、薬剤師による薬剤の適正使用への関与が必要である

それを達成するためには、薬剤師の研修を通して薬剤師の能力（高度な薬物療法を評価できる能力、副作用を早期発見する能力、疾患別専門薬物療法を評価する能力、患者への説明能力、処方チェック能力、チーム医療実践能力など）を向上させることが必要であり、そのための研修会、体験型（実習型）研修会等を企画・開催する。

1. 高度で安心安全な薬物療法を受けられるようにする為の事業

【目的】薬物療法を受ける中で有害事象が起こることがある。それらを早期発見及び重篤化回避するために、高度な知識を持った臨床薬剤師の育成を行う。

1-1. 薬剤に関するリスクマネジメント研修会の開催

開催日 2026年3月5日

開催場所 web開催（総合薬事保健センター）

内容 I. 2024年度プレアボイド報告優秀事例受賞者講演

神奈川県病院薬剤師会

①「エスタロプラムによるQT延長の重篤化回避に薬剤師が介入した一例」

横浜市立大学附属病院 薬剤部 小山 実央 先生

②「地域をつなぐプレアボイドと薬薬連携による未然防止の実践

～入院支援外来における周術期リスク回避～

社会医療法人財団 石心会 川崎幸病院 臼田 昌弘 先生

③「地域をつなぐプレアボイドと薬薬連携による入院後介入の実践

～救急・集中治療編：手術×COVID-19～

社会医療法人財団 石心会 川崎幸病院 大森 俊和 先生

神奈川県薬剤師会

①「ジストニアへの介入」

湘南あおぞら薬局藤沢店 成井 繁 先生

②「エクメット→トラディアンズ、介護職との連携」

十二所薬局 小川 亮子 先生

③「粉碎の依頼からラグノスゼリーを提案」

わかば薬局大津店 北代 玲子 先生

II. 2025年度プレアボイド報告優秀賞受賞者並びに県病薬最多報告施設発表

○神奈川県病院薬剤師会（報告数 385 件、23 施設）

優秀症例：様式1 社団医療法人財団 石心会 川崎幸病院 寺林 晃輝 先生

様式2 公立大学法人 横浜市立大学附属病院 八木 道直 先生

様式3 社団医療法人財団 石心会 川崎幸病院 米内 洸 先生

○神奈川県薬剤師会（報告数 611 件）

ミチト薬局野庭店 林 哲哉 先生

二子薬局都筑店 渡辺 美穂 先生

参加者数 141名（県病薬会員 82名、日病薬会員 0名、その他非会員 59名）

実施形式 座学

参加費 神奈川県病院薬剤師会会員・神奈川県薬剤師会会員：無料、

非会員：日本病院薬剤師会会員 500 円、

上記以外 1,000 円

担当委員会 業務検討委員会（神奈川県薬剤師会と共催）

1-2. プレアボイド報告強化月間の実施

実施期間	2025年11月1日から11月30日
報告数	報告件数：385件、施設数：23施設 優秀症例：様式1 社団医療法人財団 石心会 川崎幸病院 寺林 晃輝 先生 様式2 公立大学法人 横浜市立大学附属病院 八木 道直 先生 様式3 社団医療法人財団 石心会 川崎幸病院 米内 洸 先生
実施形式	ポスター配布によるインフォメーション
担当委員会	業務検討委員会
その他	薬剤に関するリスクマネジメント研修会にて優秀事例と最多報告施設を表彰

1-3. プレアボイド報告実例集の作成

内容	2025年度は作成せず、2026年度に作成・配布予定
配布対象	病院に勤務する薬剤師、国立国会図書館、薬科大学（関東）など
費用	希望施設に無料配布（既刊実例集は在庫限り）
担当委員会	業務検討委員会

事業の財源：費用には会費、補助金、寄附金を充てた。

※プレアボイド：

薬剤師が薬物療法に直接関与し、薬学的患者ケアを実践して患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を集積及び解析し、考察を加えることによって、薬剤師の資質向上を図る。

2. 複雑化・高度化した医療に対応するための事業

【目的】 疾病構造の急激な変化、医療・薬物療法の複雑化・高度化した現状において、地域および施設間格差があり、一般市民が標準的な医療を受けることができていない現状がある。そのような状況を是正するためには、どこの病院においても幅広い知識と高い専門性をもった薬剤師を育成する必要がある、そのための事業を行う。

2-1. がん薬物療法専門薬剤師セミナーの開催

第1回

開催日	2025年5月14日
内容	講演1「抗がん剤における皮膚障害マネジメント」 湘南医療大学 薬学部 教授 佐藤 淳也 先生 講演2「薬剤師に知ってほしい乳がんの薬物療法の基本と最新動向」 横浜市立大学附属病院 乳腺外科 助教 押 正徳 先生
参加者数	90名（県病薬会員82名、日病薬会員7名、その他非会員1名）

第2回

開催日	2025年9月10日
内容	講演1「薬剤師が知っておきたい腫瘍循環器」 聖マリアンナ医科大学病院 治験管理室 土岐 真路 先生 講演2「肝細胞癌治療の実際—薬物療法を中心に全体像を捉える」 東海大学医学部 内科学系消化器内科学 講師 鶴谷 康太 先生
参加者数	84名（県病薬会員76名、日病薬会員7名、その他非会員1名）

第3回

開催日 2025年12月3日
 内容 講演1「薬剤師が知っておきたいG-CSFの適正使用」
 横浜労災病院 薬剤部 稲田 佑亮 先生
 講演2「肺癌における分子標的薬治療を中心に」
 北里大学病院 呼吸器内科 主任教授 助教 猶木 克彦 先生
 参加者数 72名（県病薬会員66名、日病薬会員6名、その他非会員0名）

(各回共通)
 開催場所 web開催
 実施形式 座学
 参加費 会員：500円、非会員：日本病院薬剤師会会員1,000円、左記以外1,500円
 担当委員会 専門・認定支援委員会（がん領域）

2-2. がん薬物療法専門薬剤師ワークショップの開催

第1回

開催日 2025年6月14日
 内容 症例ディスカッション・ワークショップ 『乳がん』
 症例解説 日本医科大学武蔵小杉病院 薬剤部 安島 亜矢子 先生
 参加者数 27名（県病薬会員26名、日病薬会員0名、その他非会員1名）

第2回

開催日 2025年10月4日
 内容 症例ディスカッション・ワークショップ 『肝臓がん』
 症例解説 横浜市立大学附属病院 薬剤部 清水 絢子 先生
 参加者数 30名（県病薬会員29名、日病薬会員0名、その他非会員1名）

第3回

開催日 2026年1月17日
 内容 症例ディスカッション・ワークショップ 『肺がん』
 症例解説 横浜市立大学附属市民総合医療センター 薬剤部 花谷 直美 先生
 参加者数 33名（県病薬会員32名、日病薬会員1名、その他非会員0名）

(各回共通)

開催場所 web開催
 実施形式 SGD
 参加費 会員：3,000円/3回
 非会員：日本病院薬剤師会会員4,500円/3回、左記以外6,000円/3回
 担当委員会 専門・認定支援委員会（がん領域）

2-3. 感染制御認定薬剤師セミナーの開催

第1回

開催日 2025年8月6日
 内容 特別講演『日本の皮膚感染症から分離されるMRSAの特徴』
 東京薬科大学 薬学部 臨床微生物学教室 教授 中南 秀将 先生
 参加者数 60名（県病薬会員52名、日病薬会員7名、その他非会員1名）

第2回

開催日 2025年12月11日
 内容 特別講演『公表されたデータを目の前の患者さんや臨床研究にどう活かすか！』

～感染症領域を中心に～』

京都薬科大学 臨床薬剤疫学分野 教授 村木 優一 先生

参加者数 62名（県病薬会員 51名、日病薬会員 11名、その他非会員 0名）

第3回

開催日 2026年2月19日

内容 特別講演『誤嚥性肺炎の奥にあるものを読む：

問題リスト・バランスモデル・意思決定の新しい枠組み』

南砺市民病院 内科副部長／総合診療科副部長 大浦 誠 先生

参加者数 46名（県病薬会員 40名、日病薬会員 6名、その他非会員 0名）

（各回共通）

開催場所 web 開催

実施形式 座学

参加費 会員：500円、非会員：日本病院薬剤師会会員 1,000円、左記以外 1,500円

担当委員会 専門・認定支援委員会（感染領域）

2-4. 感染制御認定薬剤師ワークショップの開催

第1回

開催日 2025年6月28日

開催場所 川崎市生涯学習プラザ 201 会議室

内容 基調講演「指導者、仲間が居なくても頑張れる！

AI 支援で高める薬剤師の感染症マネジメント」

横浜市立市民病院 薬剤部 五十嵐 俊 先生

症例ディスカッション・ワークショップ『薬剤師による感染症マネジメントの基本』

症例提示・解説 横浜市立市民病院 薬剤部 五十嵐 俊 先生

参加者数 29名（県病薬会員 29名、日病薬会員 0名、その他非会員 0名）

第2回

開催日 2025年9月13日

開催場所 川崎市生涯学習プラザ 301 会議室

内容 基調講演「臨床現場で役立つ皮膚軟部組織感染症(SSTI)の知識：

薬剤師が押さえるべきポイント」

東京薬科大学薬学部 薬学実務実習教育センター 原 直己 先生

症例ディスカッション・ワークショップ

「SSTI 治療の実践：現場で活かす観察力と思考力」

症例提示・解説 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院

薬剤部 大久保 綾香 先生

参加者数 36名（県病薬会員 33名、日病薬会員 3名、その他非会員 0名）

第3回

開催日 2026年2月28日

開催場所 川崎市生涯学習プラザ 301 会議室

内容 基調講演「薬剤師が知っておきたい肺炎治療」

関東労災病院 薬剤部 内田 裕之 先生

症例ディスカッション・ワークショップ

「超高齢者の肺炎における抗菌薬治療を考える」

症例提示・解説 湘南東部総合病院 薬剤科 齊田 峻 先生

参加者数 36名（県病薬会員 35名、日病薬会員 0名、その他非会員 1名）

(各回共通)

実施形式 SGD
参加費 会員：1,000 円
非会員：日本病院薬剤師会会員 1,500 円、左記以外 2,000 円
担当委員会 専門・認定支援委員会（感染領域）

2-5. 精神科薬物療法認定薬剤師講習会の開催

第 1 回

開催日 2025 年 7 月 15 日
内容 基調講演「抗 A β 抗体製剤療法の登場による MCI・認知症についての考え方の変化」
横浜舞岡病院 精神科 千葉 悠平 先生
特別講演「不眠症に対する薬物療法～睡眠薬依存症のリスクを回避するため～」
神奈川県立精神医療センター 所長 小林 桜児 先生
参加者数 54 名（県病薬会員 50 名、日病薬会員 4 名、その他非会員 0 名）

第 2 回

開催日 2026 年 1 月 30 日
内容 基調講演「アルツハイマー型認知症の行動・心理症状とマネジメント」
横浜市立みなと赤十字病院 脳神経内科部長 大久保 卓哉 先生
特別講演「アルコールと認知症のメカニズム：生活習慣との関連を踏まえて」
独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター 院長 松下 幸生 先生
参加者数 36 名（県病薬会員 35 名、日病薬会員 1 名、その他非会員 0 名）

(各回共通)

開催場所 web 開催
実施形式 座学
参加費 会員：500 円、非会員：日本病院薬剤師会会員 1,000 円、左記以外 1,500 円
担当委員会 専門・認定支援委員会（精神領域）

2-6. 専門性向上のための研修会の開催

第 1～4 回 糖尿病療養指導実践セミナー

第 1 回

開催日 2025 年 5 月 18 日
開催場所 web 開催
内容 すぐ役立つシリーズ「糖尿病の食事療法 ～基本から合併症まで～」
北里大学病院 栄養部 人見 麻美子 先生
特別講演「薬剤師が知っておくべき先進糖尿病デバイス 2025」
北里大学看護学部 基礎看護学 教授、
北里大学病院 糖尿病・内分泌代謝内科 林 哲範 先生
症例検討ワークショップ「ケーススタディ ～CGM (Continuous Glucose Monitoring) の活用方法～」
参加者数 45 名（県病薬会員 16 名、日病薬会員 9 名、その他非会員 20 名）
実施形式 座学・SGD

第 2 回

開催日 2025 年 7 月 13 日
開催場所 web 開催
内容 すぐ役立つシリーズ「糖尿病のある方への支援における薬局薬剤師の役割

～地域医療連携と現場からの実践～

望星横浜みどり薬局 大瀧 淳也 先生

特別講演「糖代謝異常合併妊婦のマネジメント

～糖代謝異常合併妊娠の基本から管理の実際について知ろう！～

北里大学医学部 糖尿病・内分泌代謝内科学 講師 市川 雷師 先生

症例検討ワークショップ「ケーススタディ 糖代謝異常を有する妊婦さんの管理について

考えてみよう！」

参加者数 35名（県病薬会員18名、日病薬会員6名、その他非会員11名）

実施形式 座学・SGD

第3回

開催日 2025年10月4日

開催場所 web開催

内容 講演1「GLP-1受容体作動薬の作用機序と心血管合併症に対する影響」

海老名総合病院 糖尿病センター長、昭和医科大学 名誉教授 平野 勉 先生

講演2「腎機能と糖尿病治療薬」

東京医科大学病院 薬剤部長 竹内 裕紀 先生

講演3「新たな週1回インスリン製剤の特徴と臨床使用」

H.E.C サイエンスクリニック 薬局 平山 大徹 先生

講演4「糖尿病などの日常の服薬支援に動機づけ面接を活かす」

相模ヶ丘病院 院長 澤山 透 先生

参加者数 85名（県病薬会員38名、日病薬会員14名、その他非会員33名）

実施形式 座学

第4回

開催日 2026年1月11日

開催場所 web開催

内容 すぐ役立つシリーズ「周術期血糖管理の基本 ～ポイントと注意点～」

藤沢市民病院 薬局 駒井 元彦 先生

特別講演「合併症進展抑制を目指して良好な血糖管理を実践していくためのコツ」

よこすか浦賀病院 薬剤科 石井 由紀子 先生

症例検討ワークショップ「薬を選ぶ力を磨く！

糖尿病治療薬セレクションワークショップ」

参加者数 59名（県病薬会員22名、日病薬会員16名、その他非会員21名）

実施形式 座学・SGD

（第1～4回共通）

参加費 会員：500円、非会員：日本病院薬剤師会会員1,000円、左記以外1,500円

担当委員会 教育研修委員会

第5回

第19回 神奈川病院薬剤師感染症フォーラム

開催日 2026年3月16日

開催場所 web開催

内容 呼吸器感染症 Up-to-date

講演1 AST・ICT活動紹介

日本医科大学武蔵小杉病院 薬剤部・感染制御部 先崎 貴洋 先生

特別講演 呼吸器感染症と抗微生物薬適正使用

北里大学医学部感染症内科学 教授 藤倉 雄二 先生

参加者数 93名（県病薬会員57名、日病薬会員30名、その他非会員5名、学生1名）
実施形式 座学
参加費 会員：500円、非会員：日本病院薬剤師会会員1,000円、左記以外1,500円
担当委員会 専門・認定支援委員会（神奈川病院薬剤師感染症フォーラムと共催）

第7回 妊婦授乳婦専門・薬物療法認定薬剤師セミナー

開催日 2026年3月25日
開催場所 web開催
内容 「妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師という選択
～取得までの道のりと今、現場でできること～」
日本医科大学武蔵小杉病院 薬剤部 上森 恵里 先生
「生殖能を有する者、妊婦、授乳婦に対する非臨床安全性評価」
Meiji Seika ファルマ株式会社 非臨床開発部 安全性評価室 下村 和裕 先生

参加者数 15名（県病薬会員8名、日病薬会員7名、その他非会員0名）
実施形式 座学
参加費 会員：1,000円、非会員：日本病院薬剤師会会員1,500円、左記以外2,000円
担当委員会 専門・認定支援委員会（妊婦授乳婦領域）

2-7. TDM（薬物血中濃度モニタリング：Therapeutic Drug Monitoring）研修会の開催

開催日 2026年3月9日
開催場所 web開催
内容 「ASTに関わる薬剤師として考えたいTDMだけじゃない抗菌薬と腎の話」
（独）労働者健康安全機構 関東労災病院 薬剤部 内田 裕之 先生

参加者数 97名（県病薬会員92名、日病薬会員5名、その他非会員0名）
実施形式 座学
参加費 会員：無料、非会員：日本病院薬剤師会会員500円、左記以外1,000円
担当委員会 中小病院診療所委員会

2-8. 患者特性に応じた薬物療法研修会の開催

患者特性に応じた薬物療法研修会

開催日 2025年11月27日
開催場所 web開催
内容 特別講演「肺がん周術期治療の個別化を目指して
～当院における現状と多職種連携の工夫～」
東海大学医学部 外科学系 呼吸器外科学 講師 松崎 智彦 先生

参加者数 106名（県病薬会員105名、日病薬会員1名、その他非会員0名）
実施形式 座学
参加費 会員：無料、非会員：日本病院薬剤師会会員500円、左記以外1,000円
担当委員会 教育研修委員会

2-9. DI（Drug Information）スキルアップ講座の開催

開催日 2026年1月31日
開催場所 かながわ県民センターホール
内容 「新医薬品の評価方法を知る」
東京大学医学部附属病院 薬剤部 大野 能之 先生

参加者数 38名（県病薬会員37名、日病薬会員0名、その他非会員1名）
実施形式 座学・SGD
参加費 会員：無料、非会員：日本病院薬剤師会会員500円、左記以外1,000円
担当委員会 学術情報委員会（共催：日本医療薬学会 2024年度医療薬学学術第2小委員会、

2-10. DI (Drug Information) 研修会の開催

開催日 2025年10月24日
開催場所 web開催
内容 「てんかん診療の現在と抗てんかん薬使用の実際」
横浜市立大学 医学部 脳神経外科学 助教 池谷 直樹 先生
参加者数 197名(県病薬会員194名、日病薬会員3名、その他非会員0名)
実施形式 座学
参加費 会員：無料、非会員：日本病院薬剤師会会員500円、左記以外1,000円
担当委員会 学術情報委員会

2-11. DI (Drug Information) ワークショップの開催

開催日 2025年11月28日
開催場所 横浜市社会福祉センター
内容 「病棟で活かす！明日から役立つ抗てんかん薬の薬学的管理」
湘南医療大学薬学部 疾病治療学研究室 浦 裕之 先生
参加者数 22名(県病薬会員22名、日病薬会員0名、その他非会員0名)
実施形式 座学
参加費 会員：無料、非会員：日本病院薬剤師会会員500円、左記以外1,000円
担当委員会 学術情報委員会

2-12. 地区研修会の開催

県西地区研修会

開催日 2025年12月9日
開催場所 web開催
内容 「消化器症状(嘔気、下痢、食欲不振)に対する漢方の使い方」
東海大学医学部 専門診療学系漢方医学 教授 野上 達也 先生
参加者数 82名(県病薬会員82名、日病薬会員0名、その他非会員0名)

相模原地区研修会

開催日 2025年12月19日
開催場所 web開催
内容 「在宅療養下における薬剤師の視点 ～慢性疾患から緩和ケアまで～」
フォーライフ薬局原町田店 代表 小林 輝信 先生
「あなたのそばにいる薬剤師 ～緩和ケアと在宅医療の心強いパートナー～」
みずじゅんクリニック 院長 水上 潤哉 先生
参加者数 79名(県病薬会員78名、日病薬会員1名、その他非会員0名)

湘南地区研修会

開催日 2025年10月23日
開催場所 web開催
内容 「ガイドラインから紐解く血糖管理と脂質管理の重要性」
東海大学医学部 内科学系 腎内分泌代謝内科 教授 豊田 雅夫 先生
参加者数 86名(県病薬会員86名、日病薬会員0名、その他非会員0名)

大和地区研修会

開催日 2025年8月29日

開催場所 web 開催
内容 「不眠症の標準的な対応について」
北里大学病院 精神神経科 村岡 寛之 先生
参加者数 86 名（県病薬会員 85 名、日病薬会員 1 名、その他非会員 0 名）

第 1 回 横浜・川崎地区研修会

開催日 2025 年 11 月 12 日
開催場所 web 開催
内容 「心不全診療の重要ポイントを一気に整理！ ～基礎から最新のガイドラインまで～」
新百合ヶ丘総合病院 循環器内科 医長 山上 洋介 先生
参加者数 105 名（県病薬会員 104 名、日病薬会員 1 名、その他非会員 0 名）

第 2 回 横浜・川崎地区研修会

開催日 2026 年 1 月 22 日
開催場所 web 開催
内容 「医薬品フォーミュラリの実践
～バイオシミラーも含めた考え方と取組事例、そして地域へ～」
公立大学法人 横浜市立大学附属病院 薬剤部 副部長 小池 博文 先生
参加者数 112 名（県病薬会員 110 名、日病薬会員 2 名、その他非会員 0 名）

横須賀地区研修会

開催日 2026 年 2 月 3 日
開催場所 web 開催
内容 「腎機能低下患者における薬学的管理のポイント」
横浜市立大学附属市民総合医療センター 薬剤部 宇野 洋司 先生
「心不全患者における高カリウム血症管理～2025 改訂ガイドラインを踏まえて～」
東海大学医学部 内科学系 循環器内科学 講師 村上 力 先生
参加者数 98 名（県病薬会員 95 名、日病薬会員 3 名、その他非会員 0 名）

(各回共通)

実施形式 座学
参加費 会員：無料、非会員：日本病院薬剤師会会員 500 円、左記以外 1,000 円
担当委員会 中小病院診療所委員会

2-13. 病院・診療所・薬局実務者講習会の開催

病院・診療所・薬局実務者講習会

開催日 2026 年 3 月 9 日 ～ 3 月 14 日
開催場所 1 日目 : 神奈川県総合医療会館
2 ～ 5 日目 : 各講習施設
6 日目 : 神奈川県総合薬事保健センター
内容 1 日目と 6 日目に集合研修、2 ～ 5 日目は各講習施設にて個別研修
参加者数 37 名（県病薬会員 35 名、日病薬会員 0 名、その他非会員 2 名）
実施形式 座学、実務実習
実施施設 けいゆう病院、横浜市みなと赤十字病院、横浜市立大学附属市民総合医療センター、
横浜市立市民病院、横浜労災病院、昭和医科大学横浜市北部病院、厚木市立病院、
大和市立病院、川崎市立川崎病院、関東労災病院、聖マリアンナ医科大学病院、
北里大学病院、ほか全 24 施設
参加費 会員：1,000 円
非会員：神奈川県薬剤師会会員 1,000 円

日本病院薬剤師会会員または日本薬剤師会会員 1,500 円
上記以外 2,000 円

担当委員会 教育研修委員会（神奈川県薬務課、神奈川県薬剤師会と共催）

2-14. 卒後教育研修会の開催

第 1 回 褥瘡研修会

開催日 2025 年 10 月 26 日

開催場所 神奈川県総合薬事保健センター

内容 講義 1「限られた薬剤で省力化・効率化を実現する外用薬治療フルタ・メソッド
～基剤ファーストと薬剤滞留～」
医療法人愛生館小林記念病院 褥瘡ケアセンター 古田 勝経 先生
講義 2「皮膚創傷管理に重要な視点の「失禁ケア」について」
済生会横浜市南部病院 皮膚・排泄ケア特定認定看護講師 片山 真紀 先生
実習「6 種類の褥瘡外用薬と 1 種類の創傷被覆材の組み合わせで、
省力化したガーゼ交換で効率的に褥瘡を治すフルタメソッド」
医療法人愛生館小林記念病院 褥瘡ケアセンター 古田 勝経 先生

参加者数 70 名（県病薬会員 29 名、日病薬会員 7 名、その他非会員 34 名）

実施形式 座学、実習

参加費 神奈川県病院薬剤師会会員・神奈川県薬剤師会会員：2,000 円
非会員：日本病院薬剤師会会員 2,500 円
上記以外 3,000 円

担当委員会 業務検討委員会（神奈川県薬剤師会と共催）

第 2 回

開催 2025 年 11 月 19 日

開催場所 web 開催

内容 「薬剤師のための法的知識」
JMP 法律事務所 赤羽根 秀宜 先生

参加者数 138 名（県病薬会員 137 名、日病薬会員 1 名、その他非会員 0 名）

実施形式 座学

参加費 会員：無料、非会員：日本病院薬剤師会会員 500 円、左記以外 1,000 円

担当委員会 教育研修委員会

2-15. 薬学研修会の開催

第 1 回 4 月薬学研修会

開催日 2025 年 4 月 10 日

開催場所 web 開催

内容 特別講演「悪性リンパ腫 ～濾胞性リンパ腫を中心に～」
東海大学医学部 血液腫瘍内科 講師 大間知 謙 先生

参加者数 95 名（県病薬会員 90 名、日病薬会員 3 名、その他非会員 2 名）

第 2 回 5 月薬学研修会

開催日 2025 年 5 月 8 日

開催場所 web 開催

内容 特別講演「BPSD の薬物治療：Up-to-date」
メモリーケアクリニック湘南 院長 内門 大丈 先生

参加者数 138 名（県病薬会員 134 名、日病薬会員 4 名、その他非会員 0 名）

第 3 回 6 月薬学研修会

開催日 2025年6月12日
開催場所 web開催
内容 特別講演「アトピー性皮膚炎の新たな治療戦略 ～その特徴と注意点について～」
なごみ皮ふ科 院長 齊藤 典充 先生
参加者数 154名（県病薬会員154名、日病薬会員0名、その他非会員0名）

第4回 7月薬学研修会

開催日 2025年7月10日
開催場所 web開催
内容 特別講演「抗菌薬適正使用の最前線：成人肺炎ガイドライン2024とAMR対策」
北里大学医学部 感染症内科学 主任教授 藤倉 雄二 先生
参加者数 189名（県病薬会員187名、日病薬会員2名、その他非会員0名）

第5回 9月薬学研修会

開催日 2025年9月11日
開催場所 web開催
内容 一般講演「胃癌薬物療法における副作用マネジメントの実際」
聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部 野崎 智椰 先生
特別講演「胃がん診療アップデート2025ーガイドライン改訂と臨床現場の実態」
神奈川県立がんセンター 消化器内科 医長 古田 光寛 先生
参加者数 141名（県病薬会員140名、日病薬会員1名、その他非会員0名）

第6回 10月薬学研修会

開催日 2025年10月9日
開催場所 web開催
内容 特別講演「腎不全患者における輸液」
聖マリアンナ医科大学病院 腎臓・高血圧内科 主任教授 柴垣 有吾 先生
参加者数 160名（県病薬会員158名、日病薬会員2名、その他非会員0名）

第7回 11月薬学研修会

開催日 2025年11月13日
開催場所 web開催
内容 特別講演1「アトピー性皮膚炎治療：非ステロイド外用薬の適用と選択のコツ」
国立病院機構相模原病院 小児科 河合 慧 先生
特別講演2「尋常性乾癬における外用治療の選択」
北里大学医学部 皮膚科学 助教 越後貫 慧 先生
参加者数 132名（県病薬会員132名、日病薬会員0名、その他非会員0名）

第8回 12月薬学研修会

開催日 2025年12月11日
開催場所 web開催
内容 特別講演「不眠症の基礎知識」
帝京大学医学部附属溝口病院 精神神経科科長 齋藤 正範 先生
参加者数 114名（県病薬会員113名、日病薬会員1名、その他非会員0名）

第9回 2月薬学研修会

開催日 2026年2月12日
開催場所 web開催
内容 特別講演「術後疼痛管理の最前線と薬剤師の役割」

神奈川県済生会横浜市東部病院 患者支援センター長
医師支援室室長 栄養部担当部長 谷口 英喜 先生

参加者数 108名（県病薬会員107名、日病薬会員1名、その他非会員0名）

第10回 3月薬学研修会

開催日 2026年3月12日

開催場所 web開催

内容 特別講演「白内障手術の基本と最近の知見」

北里大学医学部 眼科学 診療教授 飯田 嘉彦 先生

参加者数 95名（県病薬会員93名、日病薬会員1名、その他非会員1名）

（第1～10回共通）

実施形式 座学

参加費 会員：無料、

非会員：横浜市薬剤師会会員 無料、日本病院薬剤師会会員：500円、

上記以外1,000円

担当委員会 教育研修委員会

第11回 病院薬剤師研修会

開催日 2026年2月6日

開催場所 web開催

内容 「薬剤師のタスク・シフト／シェアの現状と展望」

三豊総合病院 薬剤部 篠永 浩 先生

「神奈川県における薬剤師確保対策について」

神奈川県健康医療局生活衛生部 薬務課薬事指導グループ

「麻薬及び向精神薬等の管理について」

神奈川県健康医療局生活衛生部 薬務課献血・薬物対策グループ

参加者数 61名（県病薬会員44名、日病薬会員4名、その他非会員13名）

実施形式 座学

参加費 無料

担当委員会 教育研修委員会（神奈川県薬務課と共催）

第12回 輸液・栄養に関する研修

開催日 2025年7月12日

開催場所 ハイブリッド開催（web開催、大塚製薬工場横浜支店）

内容 特別講演「高齢者の人工的水分・栄養補給法

（Artificial Hydration and Nutrition, AHN）

～急性期病院と療養型病院の立場から～

茅ヶ崎中央病院 総合診療科 庭野 元孝 先生

参加者数 100名（県病薬会員97名、日病薬会員1名、その他非会員2名）

参加費 会員：無料、非会員：日本病院薬剤師会会員500円、左記以外1,000円

実施形式 座学

担当委員会 教育研修委員会

2-16. フィジカルアセスメント研修会の開催

開催日 2025年9月14日

開催場所 横浜薬科大学

内容 フィジカルアセスメントの基礎知識

フィジカルアセスメント実技演習、症例検討

横浜薬科大学 臨床薬学科 教授 渡邊 徹 先生

参加者数 14名（県病薬会員10名、日病薬会員0名、その他非会員4名）
実施形式 座学、実技実習
参加費 会員：無料、非会員：500円
担当委員会 教育研修委員会

2-17. 「薬剤業務関連冊子」の作成

2024年度は作成、配布は行っていない

担当委員会 関係各委員会

2-18. 薬剤師キャリア支援研修会

開催日 2025年8月4日～2026年3月13日
開催場所 各研修連携施設
内容 ①ベーシックコース（0.5日×1日間）
病院薬剤師の業務概要ならびに見学が中心
②アドバンストコース（0.5日×4日間）
病院薬剤師の知識ならびにスキルの習得
参加者数 1名（①ベーシックコース 0名 ②アドバンストコース 1名）
実施施設 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター
担当委員会 総務会

2-19. 病床機能別研修会の開催

精神科領域研修会

開催日 2026年2月17日
開催場所 web開催
内容 「患者や身近な人の「こころの不調サイン」に気づいたら？」
～メンタルヘルス・ファーストエイドの理解と活用～
北海道大学大学院医学研究院 神経病態学分野 精神医学教室
教授 加藤 隆弘 先生
参加者数 99名（県病薬会員97名、日病薬会員2名、その他非会員0名）

療養病床対象研修会

開催日 2026年1月7日
開催場所 web開催
内容 「回復期病棟における薬剤師の役割と生活期との連携」
～生活薬学から考えるケア移行時の出口戦略～
昭和医科大学藤が丘病院 薬剤部 薬剤部長 藤原 久登 先生
参加者数 91名（県病薬会員91名、日病薬会員0名、その他非会員0名）

診療所対象研修会

開催日 2025年11月20日
開催場所 web開催
内容 「明日から処方提案が変わる！高血圧治療アップデート」
～腎臓内科医の視点で学ぶ、JSH 2025とARNIの最適な使い方～
横浜栄共済病院 腎臓内科 副部長 千葉 恭司 先生
参加者数 86名（県病薬会員84名、日病薬会員2名、その他非会員0名）

第1回 NST 研修会

開催日 2026年2月20日

開催場所 web 開催
 内容 「薬剤師の専門性が、在宅医療の質を決める
 ～医師が本当に求めている情報とは何か～」
 みずじゅんクリニック 院長 水上 潤哉 先生
 参加者数 60 名（県病薬会員 58 名、日病薬会員 2 名、その他非会員 1 名）

第 2 回 NST 研修会

開催日 2026 年 3 月 13 日
 開催場所 web 開催
 内容 「高齢者大腸癌の周術期、抗癌剤治療における外科医の視点
 ～栄養療法と経腸栄養剤の役割～」
 横浜総合病院 消化器外科 貴島 孝 先生
 「低栄養の予防と管理 ～高齢者と大腸がん患者を支える栄養介入～」
 横浜総合病院 栄養管理部 角田 茜 先生
 「大腸がん患者に対する周術期リハビリテーション」
 横浜総合病院 リハビリテーション部 阿部 美歩 先生
 参加者数 75 名（県病薬会員 73 名、日病薬会員 1 名、その他非会員 1 名）

(各回共通)

実施形式 座学
 参加費 会員：無料、非会員：日本病院薬剤師会会員 500 円、左記以外 1,000 円
 担当委員会 中小病院診療所委員会

事業の財源：費用には会費、参加費、補助金、寄附金を充てる。

がん薬物療法専門薬剤師セミナー、がん薬物療法専門薬剤師ワークショップ、感染制御認定薬剤師セミナー、感染制御認定薬剤師講習会、精神科薬物療法認定薬剤師講習会、輸液・栄養に関する研修、糖尿病療養指導士認定講習会、病院・診療所・薬局実務者講習会、卒後教育研修会、医療施設研修所実地研修会は参加費を徴収する。

3. 医療の質に関する調査

【目的】薬物療法は、地域および施設間によって医療の質の格差があってはならない。患者が標準的な医療を受けられる事が理想である。医療の質（薬物療法の質）の向上を目的として現状を把握し、これら进行分析することで地域及び施設間格差への対応を図る。更にそこから得られた有益な情報を各施設のみならず学術誌等に広く公表し還元する。

3-1. 医療の質に関する調査

第 1 回

内容 令和 5～6 年日本病院薬剤師会が実施した「病院薬剤部門の現状調査」より神奈川県下の会員施設における薬剤師確保の現状結果、地域毎の傾向、各施設の対応等を紹介した。
 担当委員会 業務検討委員会

第 2 回

時期 2025 年度は行っていない
 担当委員会 中小病院診療所委員会

事業の財源：費用には会費、補助金、寄附金を充てる。

4. 医薬分業支援に関する事業

【目的】 院外処方せん発行増加により疑義（用法用量・疾患への適応・使用上の注意事項など）が増えており、保険薬局薬剤師は、患者情報不足から薬物療法が適切に評価できない状況にある。また、薬物療法の内容について、入院中と退院後の外来通院時の情報提供内容が一致するように院内と院外の薬剤師が連携する必要がある。そのような状況下における患者の不利益を回避することを目的とし、双方の薬剤師同士の情報共有を充実させるために事業を行う。

4-1. 他団体との合同研修会の開催

第1回 相模原市薬剤師会との合同研修会

開催日 2026年2月13日
開催場所 web 開催
内容 「地域で支える心不全治療 ～薬薬連携における薬剤師のモニタリングポイント～」
北里大学病院 薬剤部 小松 敏彰 先生
パネルディスカッション「相模原地域における心不全フォローアップ」
北里大学病院 薬剤部 小松 敏彰 先生
総合相模更生病院 薬剤部 兒玉 京子 先生
かもめ薬局ゆたか町店 村上 哲男 先生
調剤薬局ケーエム 白井 賢治 先生
参加者数 153名（県病薬会員82名、日病薬会員0名、相模原市薬会員71名、
その他非会員0名）
実施形式 座学
参加費 会員：無料、
非会員：日本病院薬剤師会会員500円、相模原市薬剤師会会員：無料、
上記以外1,000円
担当委員会 中小病院診療所委員会（共催：相模原市薬剤師会）

第2回 横須賀市薬剤師会との合同研修会

開催日 2026年3月2日
開催場所 web 開催
内容 「策定しておくとか何かと便利「院内フォーミュラリ」
～策定方法からメンテナンス、地域への波及効果まで～」
横須賀共済病院 薬剤科 小林 路子 先生
「地域フォーミュラリ導入の壁を越えるために：現実的な視点と課題整理」
神奈川歯科大学附属病院 薬剤部 山崎 勇輝 先生
参加者数 101名（県病薬会員74名、日病薬会員0名、横須賀市薬会員26名、
その他非会員1名）
実施形式 座学
参加費 会員：無料、非会員：日本病院薬剤師会会員500円、左記以外1,000円
担当委員会 中小病院診療所委員会（共催：横須賀市薬剤師会）

第3回 鶴見薬剤師会との合同研修会

開催日 2026年3月4日
開催場所 web 開催
内容 「連携の本質は情報ではなく“関係性”
— 患者中心の医療をつなぐ、地域協働モデルを目指す —」
済生会横浜市東部病院 薬剤部 大幸 淳 先生
「薬薬連携、継続は力なり、継続は絆なり」
鶴見薬剤師会理事 田辺薬局 薬局長 松島 大輔 先生
パネルディスカッション「地域連携のすゝめ」

司会 稲葉 健二郎 (総合相模更生病院 薬剤部)
パネリスト 大幸 淳 先生
松島 大輔 先生

参加者数 72名 (県病薬会員 59名、日病薬会員 1名、鶴見区薬会員 12名、その他非会員 0名)
実施形式 座学
参加費 会員：無料、非会員：日本病院薬剤師会会員 500円、左記以外 1,000円
担当委員会 中小病院診療所委員会 (共催：鶴見薬剤師会)

第4回 薬薬連携推進のための病院薬剤師会と薬剤師会の合同セミナー

開催日 2026年2月5日
開催場所 web開催 (総合薬事保健センター)
内容 講演 テーマ：地域フォーミュラの取り組み
「横須賀地区における地域フォーミュラの取り組みについて
(病院薬剤師の立場から)」
神奈川歯科大学附属病院 薬剤部 山崎 勇輝 先生
「横須賀地区における地域フォーミュラの取り組みについて
(保険薬局薬剤師の立場から)」
クリタ調剤薬局 米が浜店 鈴木 貴之 先生

参加者数 98名 (県病薬会員 72名、日病薬会員 0名、その他非会員 26名)
参加費 会員：無料、非会員：日本病院薬剤師会会員 500円、左記以外 1,000円
実施形式 座学
担当委員会 業務検討委員会 (神奈川県薬剤師会と共催)

事業の財源：費用には会費、補助金、寄附金を充てる。

公 I - 3 薬学生教育に関する事業

<定款上の根拠 第2章、第4条1)、2)、5)>

病院等における薬学生実務実習の現状調査、実習指導薬剤師の養成、実習指導書等の作成・頒布、受け入れ医療機関への支援を行うことで、臨床での卒前教育を促進し、薬学生教育に寄与する。これらをもって薬剤師としての倫理観、医療現場での実践能力を高め、臨床能力のある薬剤師を養成することを目的としている。

1. 薬学生教育のための調査・調整に関する事

【目的】病院実習(病院実務実習、早期体験実習、アドバンスト病院実習、その他薬学生の実習、見学実習等)に関する問題点、受け入れ状況を把握するために、薬学生受け入れ医療機関、薬学生所属大学、新卒薬剤師、関係者等に対して調査を行い、実習内容の充実と質の向上を図る。

1-1. 病院実務実習における問題点抽出のためのアンケート調査の実施

開催 2025年度は実施していない
担当委員会 薬学生病院実習検討委員会

1-2. 薬学生受入れに関する実態把握のためのアンケート調査の実施

開催月 2025年12月～2026年1月
対象 会員施設
結果公表先 当会雑誌およびホームページ
担当委員会 薬学生病院実習検討委員会

1-3. 病院実務実習における問題点抽出のためのワークショップ形式調査の実施

開催日 2026年1月28日
開催場所 神奈川県総合薬事保健センター 1階多目的ホール
対象 関東地区の担当委員(大学・病院薬剤師会・薬剤師会)
内容 コアカリ改訂箇所の問題点等について三者合同でグループディスカッション
担当委員会 薬学生病院実習検討委員会

1-4. 神奈川県薬剤師会、病院・薬局実務実習関東地区調整機構との情報交換

関東地区病院・薬局実務実習調整機構との情報交換

開催日	2025年4月17日	第1回	関東調整機構総会 (東京：慶応義塾大学薬学部およびWeb)
	2025年7月28日	第1回	指導薬剤師養成小委員会 (Web)
	2025年9月11日	第2回	薬学実践実習運営委員会 (東京：長井記念館およびWeb)
	2025年10月21日	第1回	病院小委員会 (Web)
	2025年10月28日	第2回	指導薬剤師養成小委員会 (Web)
	2025年12月23日	第2回	関東調整機構総会 (東京：慶応義塾大学薬学部)
	2026年1月19日	第3回	指導薬剤師養成小委員会 (Web)
	2026年1月30日		薬学実践実習に関する説明会 (Web)
	2026年2月25日	第2回	病院小委員会 (Web)

神奈川県薬剤師会との情報交換

開催日	2025年6月4日	第1回	薬実務実習委員会
	2025年9月3日	第2回	薬実務実習委員会
	2026年1月19日	第3回	薬実務実習委員会
	2026年3月23日	第4回	薬実務実習委員会
開催場所	神奈川県総合薬事保健センター		

(各回共通)

担当委員会 薬学生病院実習検討委員会

2. 認定実務実習指導薬剤師(※)養成事業に関する事

【目的】薬学生を病院で教育するために必要な認定実務実習指導薬剤師を養成する。

2-1. 認定実務実習指導薬剤師養成事業における講習会の開催

養成コース

第1回

開催日 2025年7月6日

開催場所 神奈川県総合薬事保健センター

内容 「1 薬剤師の理念」(DVD講習)

「2-1 平成25年度改訂 薬学教育モデル・コアカリキュラム」

「2-2 薬学実務実習に関するガイドライン」

講師 関東地区調整機構 伊東 明彦 氏

「3-1 学生の指導(法的問題)」(DVD講習)

「3-2 学生の指導(OBEに基づいた薬局実務実習の進め方)」

講師 神奈川県薬剤師会 片山 周也 氏

「3-3 学生の指導(改訂薬学教育モデル・コアカリキュラムに準拠した病院実習)」

(DVD講習)

参加者数 当会会員14名

更新コース

第1回

開催日 2025年7月6日

開催場所 神奈川県総合薬事保健センター

内容 「2-1 平成25年度改訂 薬学教育モデル・コアカリキュラム」

「2-2 薬学実務実習に関するガイドライン」

講師 関東地区調整機構 伊東 明彦 氏

参加者数 当会会員20名

(各回共通)

参加費 会員：500円、非会員：神奈川県薬剤師会会員500円、
日本病院薬剤師会会員1,000円、
上記以外1,500円

実施形式 座学

担当委員会 薬学生病院実習検討委員会(薬学教育協議会、神奈川県薬剤師会と共催)

2-2. 認定実務実習指導薬剤師(※1)養成事業におけるワークショップの開催

養成コース開催に伴う研修会

開催日 2025年6月29日

開催場所 神奈川県総合薬事保健センター

内容 指導薬剤師育成タスクフォース勉強会

担当委員会 薬学生病院実習検討委員会

養成コース

第6回関東地区調整機構主催認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ(神奈川県 第1回)

開催日	2025年7月20日、21日
開催場所	横浜薬科大学
内容	「認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ」
参加者数	15名
参加費	15,000円
実施形式	ワークショップ
担当委員会	薬学生病院実習検討委員会（関東調整機構が主体）

2-3. 実務実習に関する説明会の開催（※2）

開催	2025年度は行っていない
担当委員会	薬学生病院実習検討委員会

事業の財源：費用には会費、参加費、補助金、寄附金を充てる。

認定実務実習指導薬剤師養成事業における講習会、認定実務実習指導薬剤師養成事業におけるワークショップでは参加費を徴収する。

（※1）認定実務実習指導薬剤師：6年制薬学教育制度下の薬学生に対して、医療の現場における実務実習の際に指導に当たることができる薬剤師。2005年度から2009年度までは厚生労働省補助事業「認定実務実習指導薬剤師制度」として実施され、2010年度から2021年度まで日本薬剤師研修センター独自事業として実施してきた。2022年度から本事業は薬学教育協議会に移管されている。

（※2）これまで、日本薬剤師研修センター、関東地区調整機構、日病薬等関連団体からの情報伝達会を急遽開催しなければならないケースがあった（対応困難なSBOsへの対応方法関連の伝達講習、実習指導書の使用方法説明会）ため、予算計上の必要があり、毎年事業計画には載せている。

3. 薬学生病院実務実習関連書籍の作成・頒布

【目的】薬学生教育の標準化および質を確保することで、臨床能力のある薬剤師を育成するために薬学生病院実務実習関連書籍の作成および頒布を行う。

3-1. 「薬学生病院実務実習指導書」および「薬学生病院実務実習ノート」の改訂・頒布

内容	薬学生病院実務実習指導書 2018改訂版の発行
頒布	2025年度は頒布していない
対象	正会員 実務実習受け入れ施設
費用	会員施設：郵送等にて無償配布、非会員・学生等：書店にて実費購入
担当委員会	薬学生病院実習検討委員会

事業の財源：費用には会費、補助金、寄附金を充てる。

公 I - 4 医療薬学などの学術の進歩発展に関する事業

<定款上の根拠 第2章、第4条1)、2)、5)、6)>

医療薬学などの医療分野における学術の進歩・発展に寄与するための各種学会の開催・協力、専門誌の発行などを行う。これらをもって、医療水準の向上を図り、一般市民の安心安全な医療を提供することを目的とする。

1. 医療薬学関連学術大会（※）の開催および協力

【目的】医療薬学分野における学術大会の開催、その他学術大会への協力を行うことによって、医療薬学などの学術の進歩・発展に寄与し、医療水準の向上と一般市民の安心安全な医療を提供することを目的とする。

1-1. 学術集会等の開催

かながわ心不全研修会

開催日	2026年3月7日
開催場所	かながわ県民センター
内容	基調講演 「チームで管理する心不全治療～シームレスな医療を実現するために～」 聖隷横浜病院 心臓血管センター内科 主任医長 河合 慧 先生 シンポジウム シンワ薬局市民病院前店 鈴木 隆索 先生 テラオ薬局 阿部 隆介 先生 川崎市立多摩病院 薬剤部 武田 真央 先生 クスリのカカヤマ薬局久地駅前店 橋本 学 先生 一般社団法人日本心不全薬学共創機構代表理事 漆畑 俊哉 先生 総合討論 (アドバイザー：河合先生)
参加者数	94名 (県病薬会員 56名、日病薬会員 1名 その他非会員 37名)
実施形式	座学
参加費	無料
担当委員会	学術情報委員会 (共催：神奈川県薬剤師会、 後援：横浜市医療局・かながわ心不全ネットワーク)

1-2. 日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会の開催（10年毎）

開催	2025年度は実施していない（次回2032年予定）
担当委員会	関東ブロック実行委員会（日本病院薬剤師会関東ブロック主催）

1-3. 神奈川県病院学会への協力

開催日	2025年10月15日
担当委員会	学術情報委員会（神奈川県病院協会主催）
発表委員会	会員・広報出版委員会、学術情報委員会

事業の財源：費用には会費、参加費、補助金、寄附金を充てる。

かながわ薬剤師学術大会、日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会では参加費を徴収する。

(※) 学術大会：メインテーマのもとシンポジウムや特別講演を設定し、参加者との質疑応答を行うほか、広く発表を募り、多方面に渡り研究発表の場を設けている。

2. 神奈川県病院薬剤師会雑誌の発行

【目的】医学、薬学領域に関する情報、論文、医薬品情報、教養、行政通知、行政・薬業界の話題等を掲載している。もって薬剤師の学術的資質向上を図り、医学、薬学領域の学術の振興に寄与す

る。

2-1. 神奈川県病院薬剤師会雑誌の発行

発行時期	2025年7月、11月、2026年3月
対象	会員、関係団体、公共機関等へ配布
発行部数	3,500部
費用	非会員は実費で購入可能
担当委員会	会員・広報出版委員会

事業の財源：費用には会費、補助金、寄附金を充てる。

公 I - 5 災害医療に関する事業

<定款上の根拠 第2章、第4条4)>

災害時における防災マニュアル、緊急連絡網などの整備を行い、更に会員施設合同で訓練を行うことで、災害時の医薬品の確保及び人的支援、応急活動等を円滑にするための事業。また災害医療研究会を開催し、災害医療に関する啓発及び有効な対策について検討する。

1. 災害医療対策

【目的】震度5強を越える災害時における防災マニュアル、緊急連絡網の整備並びに訓練。

1-1. 災害時における神奈川県病院薬剤師会の対応訓練

開催日 2025年9月1日
内容 災害時被災状況報告（訓練）を行った
参加者 神奈川県内の医療機関
(月例のお知らせ、別途お知らせの郵送とホームページ内で広報した)
担当委員会 会員・広報出版委員会

1-2. 災害医療に関する事

開催日 2025年11月30日
開催場所 神奈川県総合薬事保健センター1F
内容 災害薬事コーディネーター研修の開催
参加者 神奈川県病院薬剤師会に登録している薬剤師のうち12名
担当委員会 総務会（神奈川県、県薬と合同開催）

事業の財源：費用には会費、補助金、寄附金を充てる。

2. 災害医療に関する研究会の開催

【目的】災害時に、病院薬剤師が一般市民を守るための必要な知識を高め、施設間の連携強化を図る。

2-1. 災害医療に関する研究会の開催

開催日 2026年1月29日
開催場所 横浜市社会福祉センター
内容 【情報共有】
「被災状況報告訓練の結果と報告の必要性について」
会員・広報出版委員会災害担当 厚木市立病院 薬剤部門薬剤科 野村 恭子
【講義、グループワーク、質疑応答】
「災害時、病院薬剤師は何ができるか、するべきか？」
講師：
社会福祉法人 恩賜財団 済生会横浜市東部病院 薬剤部 部長 菅野 浩 先生
ファシリテータ：
社会福祉法人 恩賜財団 済生会横浜市東部病院 薬剤部 五十嵐 崇 先生
横浜市立大学附属市民総合医療センター 薬剤部 荻田 義明 先生
一般社団法人警友会 けいゆう病院 薬剤部 上村 忠聖 先生
昭和大学横浜市北部病院 薬剤部 薬剤部長 縄田 修一 先生
参加者数 26名（県病薬会員21名、日病薬会員0名、その他非会員5名）
実施形式 SGD
参加費 無料
担当委員会 会員・広報出版委員会

事業の財源：費用には会費、補助金、寄附金を充てる。

II. その他の事業（収益事業等）

その他 1 薬剤部門業務支援に関する事業

<定款上の根拠 第2章、第4条1)、2)、7)、8)>

【目的】 薬剤部門支援に関する研修会などを開催し、薬剤師のマネジメント能力の向上、その他薬剤部運営に関する技術の向上を図り、安定した医療活動を提供できるようにするとともに、医療管理学の進歩発展に寄与する。

1. 薬剤業務推進のための講演会の開催

第1回 診療報酬改定に関する研修会

開催日 2026年3月30日
開催場所 web配信（総合薬事保健センター）
内容 「令和8年度診療報酬改定の概要
～病院薬剤師はいかに評価されたか 今後の対応を考える～」
日本血液製剤機構 事業戦略部 谷澤 正明 先生

参加者数 209名（県病薬会員185名、日病薬会員22名、その他非会員2名）
実施形式 座学
参加費 会員：無料、非会員：日本病院薬剤師会会員500円、左記以外1,000円
担当委員会 業務検討委員会

第2回 薬剤師の法的役割等に関する講演会（令和8年度法令関係研修）

開催日 2026年2月9日
開催場所 web配信（総合薬事保健センター）
オンデマンド配信：2026年2月21日～3月31日（県病薬ホームページ）
内容 「医療DX、タスクシフトが進展する今、原点に戻って法が求める薬剤師像を考える」
元日本病院薬剤師会 副会長 土屋 文人 先生

参加者数 134名（県病薬会員109名、日病薬会員25名、その他非会員0名）
実施形式 座学
参加費 会員：無料、非会員：日本病院薬剤師会会員500円、左記以外1,000円
担当委員会 業務検討委員会（神奈川県委託事業）

2. 薬剤部門管理職指導者研修会の開催

開催日 2026年2月28日
開催場所 web開催（配信会場ありのハイブリッド形式）
内容 講演「臨床薬剤師業務の生成AIによる変革～なにを使う？どう使う？～」
JA北海道厚生連 網走厚生病院 薬剤科 薬局長代理 佐藤 弘康 先生

参加者数 33名（県病薬会員30名、日病薬会員3名、その他非会員0名）
実施形式 座学
参加費 会員：無料、非会員：日本病院薬剤師会会員500円、左記以外1,000円
担当委員会 ファーマシーマネジメント委員会

3. ファーマシーマネジメント（※1）セミナーの開催

開催日 2025年7月11日
開催場所 web開催
内容 「中堅薬剤師に求められる“先輩としての関わり”の実践知
— 現場で活かす“自分らしい関わり方”を考える90分」
株式会社pharmake 代表取締役社長 田口 恵実 先生

参加者数 97名（県病薬会員96名、日病薬会員1名、その他非会員0名）
実施形式 座学

参加費 会員：無料、非会員：日本病院薬剤師会会員 500 円、左記以外 1,000 円)
担当委員会 ファーマシーマネジメント委員会

4. バランスト・スコアカード（※2）に関する研修会開催

第1回

開催日 2026年1月11日
開催場所 神奈川県総合薬事保健センター 多目的ホール
内容 病院薬剤師版 BSC セミナー 第一部「SWOT 分析、クロス分析、二次元展開作成」
日本経済大学大学院 教授 赤瀬 朋秀 先生
参加者数 42名（県病薬会員 41名、日病薬会員 1名、その他非会員 0名）

第2回

開催日 2026年2月8日
開催場所 神奈川県総合薬事保健センター 多目的ホール
内容 病院薬剤師版 BSC セミナー 第二部「戦略マップ、スコアカード作成」
日本経済大学大学院 教授 赤瀬 朋秀 先生
参加者数 41名（県病薬会員 40名、日病薬会員 1名、その他非会員 0名）

（各回共通）

実施形式 座学・SGD
参加費 会員：無料、非会員：日本病院薬剤師会会員 500 円、左記以外 1,000 円
担当委員会 ファーマシーマネジメント委員会

5. バランスト・スコアカード普及に関するファシリテーター養成講習会の開催

開催日 2025年12月20日
開催場所 日本経済大学大学院
内容 「バランスト・スコアカード基礎理論」
日本経済大学 経営学部・大学院 教授 赤瀬 朋秀 先生
参加者数 17名（県病薬会員 12名、都病薬会員 5名、日病薬会員 0名、その他非会員 0名）
参加費 無料
担当委員会 ファーマシーマネジメント委員会（都病薬と共催）

事業の財源：費用には会費、参加費を充てる。

（※1）ファーマシーマネジメント：病院薬剤部門における各種経営資源（医薬品・物流・コスト・人材・情報・患者安全など）のマネジメントを実践することにより、健全な病院経営に寄与すること。

（※2）バランスト・スコアカード：企業のもつ重要な要素が企業のビジョン・戦略にどのように影響し業績に現れているのかを可視化するための業績評価手法。病院薬剤業務の評価にも応用している。

その他2 名簿発行に関する事業

<定款上の根拠 第2章、第4条5)、7)>

【目的】会員名簿を作成し、会員が常時利用できるようにする。

1. 神奈川県病院薬剤師会会員名簿の発行

発行月 2025年11月
対象 会員

閲覧方法 クラウド上で閲覧可能（パスワード管理）
担当委員会 会員・広報出版委員会

Ⅲ. 管理事業

1. インターネットによる神奈川県病院薬剤師会ホームページの管理、維持

旧神奈川県病院薬剤師会ホームページ

時期	通年
アクセス件数	38,860 件 (2025/4/1～2026/3/29)
対象	会員、関係団体、非会員
担当委員会	会員・広報出版委員会

新神奈川県病院薬剤師会ホームページ

目的	ホームページの刷新
管理会社	エムスリーキャリア株式会社 (FLUX 株式会社から変更)
内容	ホームページの刷新に伴う管理会社との合同 web 会議
開催日	①2025 年 10 月 14 日 ②2025 年 10 月 21 日 ③2025 年 10 月 28 日 ④2025 年 11 月 4 日 ⑤2025 年 11 月 11 日 ⑥2025 年 11 月 25 日 ⑦2025 年 12 月 2 日 ⑧2025 年 12 月 9 日 ⑨2025 年 12 月 16 日 ⑩2025 年 12 月 23 日 ⑪2026 年 3 月 9 日
公開日	2026 年 3 月 30 日
担当委員会	会員・広報出版委員会

2. 地域薬剤師連絡会の開催

相模原地区地域薬剤師連絡会

目的	会員施設の連携強化
開催日	2025 年 12 月 15 日
開催場所	総合相模厚生病院
内容	趣旨説明、神奈川県病院薬剤師会委員会活動説明 幹事病院薬剤部長挨拶、薬剤部紹介 2026 年度診療報酬改定と病院薬剤師の役割 株式会社メディセオ ソリューションビジネス部 病院支援グループ グループマネージャー 田村 真治 様 薬剤部門見学 (一包化監査支援システムなど) 情報交換・懇親会
参加者	14 施設 26 名 (会員 13 施設 24 名、非会員 1 施設 2 名)
担当委員会	会員・広報出版委員会 廣瀬 幸文 先生 総合相模更生病院薬剤部 稲葉 健二郎 先生 グループマネージャー 田村 真治 様

3. 病院薬剤師業務紹介に関する講演の開催

目的	薬学部学生に対して病院薬剤師業務を紹介しその職能をアピールすることにより、会員を集めることを目的とする。
開催日	2025 年 9 月 29 日
開催場所	湘南医療大学

内容 病院薬剤師業務の紹介
参加者 20名
対象 薬学部学生と大学教員
担当委員会 中小病院診療所委員会

4. 日本病院薬剤師会 関東ブロック中小・療養病床連絡会議

目的 関東ブロックエリア内各都県との、中小病院、療養病院についての情報共有・意見交換
開催日 2025年8月3日
開催場所 つくば国際会議場3階 303会議室
内容 日本病院薬剤師会 中小病院委員会および療養病床委員会の活動報告他
参加者 神奈川県病院薬剤師会2名、日本病院薬剤師会4名、
関東ブロック各都道府県担当者13名
対象 関東ブロック各都道府県担当者と日本病院薬剤師会スタッフ
担当委員会 中小病院診療所委員会

5. 運営関係

(1) 会員加入状況

施設数		(2026年3月31日時点)
正会員		307 施設
賛助会員 (薬局、保険薬局等)		7 施設
合計		314 施設

会員数		(2026年3月31日時点)
正会員		3,020 会員
名誉会員		45 会員
賛助会員 (薬局、保険薬局等)		17 会員
賛助会員 (個人)		74 会員
賛助会員 (医薬品企業)		66 会員
賛助会員 (医薬品卸)		6 会員
県外大学		1 会員
合計		3,229 会員

(2) 会議の開催

1. 総務会

2024年度 第6回

開催日	2025年4月11日
開催場所	横浜市社会福祉センターおよびZoomによるハイブリッド開催
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事務局の倉庫の雑誌等について 2. 事務局職員の求人について 3. 災害関連事業に関する委員の選出 4. 寄附の報告とHP掲載について 5. シクミネット会費関連の相談と報告 6. 研修会開催案内の文言と注意事項について 7. キャリア支援研修会について 8. 第95回通常総会の議案について 9. 神奈川県病院薬剤師会 ポスター作成について

2025年度 第1回

開催日	2025年6月20日
開催場所	横浜市社会福祉センターおよびZoomによるハイブリッド開催
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 遊休財産の処理について 2. 病院紹介の企画について 3. 公益充実資金「プレアボイド実例集準備資金」の見直しについて 4. 資産取得資金「会員管理システム準備資金」について 5. 研修会案内の注意事項について 6. 電子印鑑の運用について 7. ピンバッチ作成について 8. 会員区分表のファイル保存先について 9. 県病薬ポスター作成について 10. 研修会一覧共有について 11. キャリア支援研修会について 12. 2025年度総務会役割分担について 13. 総務部員の理事会対応について

2025年度 第2回

開催日	2024年8月8日
開催場所	横浜市社会福祉センターおよびZoomによるハイブリッド開催

- 内 容
1. 災害薬事コーディネーターについて
 2. 理事会の決議記録について
 3. 特定費用準備資金『薬学生実務実習関連書籍の作成・頒布』計画期間の変更について
 4. ピンバッジ作成について
 5. 研修会一覧システム変更について
 6. 会議費関連について
 7. 県病薬ポスター作成について
 8. 会議システムについて
 9. 議事録作成ソフトについて
 10. その他検討事項

2025 年度 第 3 回

開催日 2025 年 10 月 10 日

開催場所 横浜市社会福祉センターおよび Zoom によるハイブリッド開催

- 内 容
1. 特別委員名称について
 2. 賛助会員（企業）減少にともなう対象企業・職種拡大の検討
 3. 遊休財産の処理について
 4. 外部理事報告を「報告事項の最後」へ入れることについて
 5. 共催事業の法令遵守確認書について
 6. 電子印鑑の運用について
 7. 総務会予算案について
 8. 会議システム・議事録作成ソフトについて
 9. その他検討事項

2025 年度 第 4 回

開催日 2025 年 12 月 12 日

開催場所 横浜市社会福祉センターおよび Zoom によるハイブリッド開催

- 内 容
1. 特別委員名称について
 2. 災害薬事コーディネーター推薦について
 3. 寄附規定について
 4. 研修会内容の重複回避について
 5. 神奈川県からの委託事業について
 6. 名簿の公開方法について
 7. 会員・研修管理ツールについて
 8. 規程 11 講師謝礼および規程 14 日当交通費および宿泊費の解釈についての確認
 9. 規程 18 学会発表についての確認
 10. パワハラ相談窓口設置の義務化について
 11. 会員名簿の HP 公開の是非について
 12. 定款変更（外部理事）について
 13. 新会議システムの見積もりについて
 14. 6 月総会の日程について、5 月理事会の会場について
 15. その他検討事項

2025 年度 第 5 回

開催日 2026 年 2 月 13 日

開催場所 横浜市社会福祉センターおよび Zoom によるハイブリッド開催

- 内 容
1. 令和 8 年度 薬剤師臨床研修 病院間連携研修支援事業について
 2. 県病薬研修会 シクミネット HOPESS 利用について
 3. 第 2 回薬学生向け Web 病院イベントの開催について
 4. 県からの委託研修会について
 5. 災害薬事コーディネーターについて

6. 寄附規定について
7. 規程 11 講師謝礼、規程 14 日当および規程 15 旅費（案）について
8. 2026 年度予算案について
9. キャリア支援研修会について
10. 電子印鑑の運用について
11. 事務局福利厚生について
12. 当会クレジットカードの取扱いについて
13. その他検討事項

2. 理事会

2024 年度 第 6 回

- 開催日 2025 年 5 月 16 日
 開催場所 横浜市社会福祉センターおよび Zoom によるハイブリッド開催
 協議事項 <委員会からの協議事項>
 なし
 <会務運営等の協議事項>
1. 神奈川県病院薬剤師会ポスター作成について
 2. シクミネット会費関連
 3. キャリア支援研修会について
 4. 講師依頼状のひな型について
 5. 第 95 回通常総会について
 6. 会員区分表の改訂について
 7. 公益法人制度改革の当会財務へ及ぼす影響に関して

2025 年度 第 1 回

- 開催日 2025 年 6 月 14 日
 開催場所 神奈川県総合薬事保健センター
 議 事
- I. 定足数の確認等
 - II. 議題の審議状況及び議決結果等
 1. 会長の選任
 2. 副会長の選任
 3. 外部理事の選任
 4. 理事の担当委員会に関して
 5. 監事の役割について
 6. 日本病院薬剤師会代議員及び予備代議員の選任
 7. 薬務課との薬剤師確保プロジェクトチームの担当
 8. 役員補佐の任命について

2025 年度 第 2 回

- 開催日 2024 年 7 月 11 日
 開催場所 横浜市社会福祉センターおよび Zoom によるハイブリッド開催
 協議事項
1. 病院紹介の企画について
 2. 会計業務の一部を事務局へ委託することについて
 3. 遊休財産の処理について
 4. 「プレアボイド実例集の作成・頒布」積立期間の延長について
 5. 「会計管理システム準備資金」取崩しについて
 6. 本会徽章（ピンバッジ）の作成と徽章規定について
 7. 研修会一覧の運用方法について
 8. 今後の理事会開催方法について
 9. その他

2025 年度 第 3 回

- 開催日 2025年9月12日
開催場所 横浜市社会福祉センターおよび Zoom によるハイブリッド開催
協議事項
1. HP制作会社の最終選定について
 2. 災害薬事コーディネーターについて
 3. 遊休財産の処理について
 4. 公益充実資金『薬学生実務実習関連書籍の作成・頒布』期間および金額の見直しについて
 5. 本会徽章（ピンバッジ）の作成と徽章規定について
 6. 賛助会員（メーカー）の取り扱いについて
 7. 特別委員について
 8. その他

2025年度 第4回

- 開催日 2025年11月14日
開催場所 横浜市社会福祉センターおよび Zoom によるハイブリッド開催
協議事項
1. ホームページリニューアル準備資金の限度額変更について
 2. 使途不特定財産の解消について
 3. 県病薬財務状況について
 4. 共催事業の法令遵守確認書について
 5. 新ホームページ作成における「問い合わせ窓口」設置による各委員会での対応の可否について
 6. その他

2025年度 第5回

- 開催日 2026年1月9日
開催場所 横浜市社会福祉センターおよび Zoom によるハイブリッド開催
協議事項
1. 災害薬事コーディネーター推薦者について
 2. 特別委員の名称重複の件
 3. 規程 11 講師謝礼、規程 14 日当および規程 15 旅費の解釈について
 4. 発行物・配布物の電子化について
 5. 新ホームページの問い合わせフォームについて
 6. 会議システム導入について
 7. その他

2025年度 第6回

- 開催日 2026年3月13日
開催場所 横浜市社会福祉センターおよび Zoom によるハイブリッド開催
協議事項
1. 2026年度予算案について、寄附規定について
 2. 事務局福利厚生について
 3. 当会クレジットカードの取扱いについて
 4. その他

3. 総会

第95回通常総会の開催

- 開催日 2025年6月14日
開催場所 神奈川県総合薬事保健センター
- (1) 報告事項
第1号 日本病院薬剤師会代議員大会報告
 - (2) 議案
第1号 2024年度事業報告承認の件
第2号 2024年度決算報告承認の件
第3号 2024年度監査報告承認の件

第 4 号 定款第 5 章 役員等の改訂の件
第 5 号 役員承認の件